

2022 年度

プログラミングで海の SDGs!

～海と日本 PROJECT～

事業報告書

主催：一般社団法人イエローピンプロジェクト

〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町 29-10 ヒルサイドテラス C-21

メール: info@programming.or.jp

Web サイト: <https://programming.or.jp/umip/>

Facebook: <https://www.facebook.com/YppSDGs/>

Twitter: <https://twitter.com/YppSDGs>

目次

2022 年度 1

1. 実施概要 5

(1)	会場イベント	5
①	長野県長野市	5
②	静岡県沼津市	7
③	静岡県浜松市	9
④	兵庫県神戸市	11
⑤	大阪府河内長野市	13
⑥	香川県丸亀市	15
⑦	神奈川県横浜市	17
⑧	東京都目黒区	19
⑨	東京都世田谷区	20
⑩	鹿児島県鹿児島市	21
⑪	神奈川県横須賀市	23
⑫	東京都文京区	25
⑬	東京都目黒区	27
(2)	出前授業	28
①	東京都 足立区立 千寿本町小学校	28
②	昭和女子大学附属 昭和小学校	29
③	白百合学園小学校	30
④	都立両国高等学校・附属中学校	31

⑤	東京都 足立区立 千寿第八小学校	33
⑥	千葉県匝瑳市椿海小学校 (オンライン)	34
⑦	東京都 足立区立 栗原小学校	35
⑧	埼玉県 戸田市立 戸田第二小学校	36
⑨	東京都 足立区立 六木小学校	38
⑩	神奈川県 横浜市立 勝田小学校	39
⑪	神奈川県 横浜市立 茅ヶ崎台小学校	40
⑫	東京都 渋谷区立 広尾小学校	41
⑭	聖セシリア小学校 (神奈川県大和市)	43
⑮	広島県 呉市立 波多見小学校 (オンライン)	44
⑯	広島県菅生学園初等学校 (東京都あきる野市)	45
⑰	東京都 台東区立 上野小学校	47
⑱	兵庫県 姫路市立 大津茂小学校 (オンライン)	48
⑲	東京都 渋谷区立 広尾小学校	49

2. 参加人数 50

3. 事業成果物及び URL 50

4. 広報としての制作物 50

5. イベント実施に伴う制作物や購入記載 51

6. 本事業に関する広報活動実績 51

(1)	_____ 実施ワークショップ	51
①	あらかわエコセンター	51
②	地域 ICT クラブ in 霞ヶ関	52

③	港区エコプラザ	52
④	こども科学センターハチラボ	52
⑤	「総務省 地域 ICT クラブ」の全国シンポジウム	52

1. 実施概要

(1) 会場イベント

① 長野県長野市



日時	2022年7月23日(土)
会場	長野県立美術館 地下ホール(長野県長野市)
実施内容	<ul style="list-style-type: none">●1回目 12:45~14:15●2回目 14:30~16:00 SDGs × プログラミングワークショップ micro:bitで海洋プラスチックごみ調査 <ul style="list-style-type: none">●10:30~11:20 SDGs講演会 山や海のいきもの、みんなが笑顔になるまちづくり 講師：中島 恵理(なかじま えり) 信州大学経法学部特任教授、元長野県副知事、前環境省脱炭素化イノベーション研究調査室長
参加人数	50名

参加者の声	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="469 297 1340 376">✓ ごみは人間だけでなく、動物にも影響していると聞いて驚いた。 ごみをださないように気をつけたい。（男子・11才）<li data-bbox="469 409 1340 544">✓ プログラミングを通して学んだことを日常に活用できる、もしくはつなげていけるんだ、ということを知ったと思うのでとても良い経験をできました。（保護者）<li data-bbox="469 577 1340 656">✓ プラスチックは便利だけど、残りやすかったりリサイクルがしにくいことが分かったので良かったです。（女子・10才）
-------	--

② 静岡県沼津市



日時	2022年7月26日(火)
会場	プラサヴェルデ コンベンションぬまづ 4階 (静岡県沼津市)
実施内容	<p>●10:15～11:45</p> <p>SDGs × プログラミングワークショップ ①micro:bit で海洋プラスチックごみ調査</p> <p>●14:30～16:00</p> <p>SDGs × プログラミングワークショップ ②micro:bit でサステナブル漁業体験</p> <p>●13:15～14:15</p> <p>SDGs 講演会 深い海 (駿河湾) は宝箱</p> <p>講師：青山 沙織 (あおやま さおり)</p> <p>深海魚直送便・しずおかの海 PR 大使</p>
参加人数	51名
参加者の声	✓ 沼津の海をきれいに保ちたいと思いました。(男子・11才)

	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ぼくも少しでも魚にやさしい生活（買い物など）をしたいと思った。（男子・12才） ✓ 説明がわかりやすく、いろいろな深海魚がいておもしろかったです。魚がすてられるのはもったいないと思いました。（男子・11才） ✓ 海のごみ問題を、手を動かしながら自分の問題として捉えるきっかけになったと思います。今日から何ができるか？1つでも行動に移して行ってほしいと思いました。（保護者） ✓ SDGs の事とプログラミングを教えていただき、一石二鳥のような講座だと思いました。始める前は不安そうでしたが、丁寧に教えていただいたこともあり楽しくできたようです。調査することの大切さを教えて頂き有難かったです。（保護者）
メディア掲載	沼津朝日新聞 7/31(日)記事掲載

③ 静岡県浜松市



日時	2022年7月28日(木)
会場	浜松こども館(静岡県浜松市)
実施内容	<p>●午前：10:00～12:00</p> <p>●午後：13:30～15:30</p> <p>粘土工作 × Scratch プログラミングワークショップ 浜名湖の生き物を作ってプログラミングで動かそう</p>
参加人数	30名
参加者の声	<p>✓ 浜名湖にはたくさんの生き物がいて、生き物を守りたいと思った。(男子・11才)</p> <p>✓ 写真や実物をみながら粘土をつくれたので楽しかった。(男子・11才)</p> <p>✓ 浜名湖にタツノオトシゴがいることにおどろいた。(男子・11才)</p> <p>✓ お話、実際に魚を見る、作るがセットになっていて、とても海(浜名湖)対して興味をもてた。浜名湖に親しむとてもいい機会になったと思います。(保護者)</p>

メディア掲載	中日新聞 8/3(水)記事掲載
--------	-----------------

④ 兵庫県神戸市



日時	2022年8月20日(土)
会場	さかなの学校(兵庫県神戸市)
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●午前の部 10:00~12:00 ●午後の部 13:30~15:30 <p>「海のSDGs」STEAMワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs × プログラミングワークショップ「micro:bitで海洋プラスチックごみ調査」 ・SDGs 講演会「海の豊かさを守るためにわたしたちができること」 <p>午前の部 講師：大鹿 達弥(おおしか たつや)</p> <p style="padding-left: 40px;">さかなの学校 校長</p> <p>午後の部 講師：安室 春彦(やすむろ はるひこ)</p> <p style="padding-left: 40px;">さかなの学校 教頭</p>
参加人数	22名
参加者の声	<p>✓ 道ばたのごみもひろったら、海のごみが少なくなると思ったらごみを拾おうと思った！(女子・9才)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SDGs を最近よく聞くけど、よくわかっていなかったなので今回参加してよくわかりました。又、プログラミングもとてもわかりやすく私もやってみたいと思いました。今日は本当に良い時間を過ごせました。ありがとうございました。（保護者） ✓ プラスチックは 400 年もなくなるから、おなかの中などに入ったらすごきけんだなと思いました。（男子・10才）
メディア掲載	8/27(土)放送 JCOM 株式会社 番組名：「WEEKLY トピックス」

⑤ 大阪府河内長野市



日時	2022年8月21日(日)
会場	ゆいテラス〔河内長野市地域まちづくり支援拠点〕(大阪府河内長野市)
実施内容	<p>●チケット A : 10:30~12:00</p> <p>●チケット B : 14:30~16:00</p> <p>「海の SDGs 」 STEAM ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs × プログラミングワークショップ <p>チケット A : micro:bit で海洋プラスチックごみ調査</p> <p>チケット B : micro:bit でサステナブル漁業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs × 河内長野ワークショップ「SDGs× 河川ごみ調査(Let's MIGO in 河内長野)」 <p>実施団体:一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会</p> <p>●13:15~14:15</p> <p>SDGs 講演会 未来のために知っておきたい、海と川とプラスチックの話</p>

	<p>講師：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原田 禎夫 (はらだ さだお) 大阪商業大学 公共学部 准教授 ・千葉 知世 (ちば ともよ) 大阪公立大学 現代システム科学研究科 准教授
参加人数	55 名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プログラミングを通して海の大切さを教えてくれて楽しかった。(女子・10才) ✓ プログラミングは生活のいろんなところで使われているんだなと思いました。ごみは気づかないうちに出ていることを知りました。(保護者) ✓ たくさん捨てられたごみは生き物にも害がおよぶと分かった。(男子・10才)
メディア掲載	9/3(土)放送 JCOM 株式会社 番組名：「WEEKLY トピックス」

⑥ 香川県丸亀市



日時	2022 年 9 月 18 日(日)
会場	丸亀市市民交流活動センター マルタス 2 階 (香川県丸亀市)
実施内容	<p>●10:30～12:00</p> <p>●14:30～16:00</p> <p>SDGs×プログラミングワークショップ</p> <p>① micro:bit で海洋プラスチックごみ調査</p> <p>② micro:bit でサステナブル漁業体験</p> <p>●10:30～12:00</p> <p>●14:30～16:00</p> <p>Python×プログラミングワークショップ</p> <p>Python で人と魚の未来を予想しよう！</p> <p>●13:00～14:00</p> <p>SDGs 講演会 ウミガメも困っています！ー考えよう、海洋プラスチックごみ問題ー</p>

	<p>講師：松沢 慶将（まつざわ よしまさ）</p> <p>四国水族館 館長 特定非営利活動法人 日本ウミガメ協議会 会長</p>
参加人数	53名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ これから SDGs、3R などに気をつけていきたいです。（男子・10才） ✓ プログラミングで楽しく SDGs について知ることができて楽しかったです。海の生き物を守るためにいろいろな人が工夫していることが分かりました。（女子・11才） ✓ 初プログラミングでしたが親子ともに楽しめました、スライドもわかりやすく説明も丁寧で、子どもも理解しやすかったと思います。海のこともとても興味をもて、家で話したいと思います。ありがとうございました。機会があれば下の子もうけさせたいです。（保護者・40代） ✓ とてもイキイキした表情で取りくんでいました。これを機に、SDGs にもっともっと関心を持ち、色々なことに取り組んでもらいたいと思います。（保護者・40代）
メディア掲載	9/30(金)放送 中讃テレビ CVC ニュース

⑦ 神奈川県横浜市



日時	2022年10月1日(土)
会場	はまぎん こども宇宙科学館(神奈川県横浜市)
実施内容	<p>●12:30~14:00</p> <p>●14:30~16:00</p> <p>SDGs×プログラミングワークショップ</p> <p>① micro:bitで海洋プラスチックごみ調査</p> <p>② micro:bitでサステナブル漁業体験</p> <p>●10:30~11:30</p> <p>SDGs講演会(オンライン) 深海プラスチック汚染のいまとこれから</p> <p>講師:磯部 紀之(いそべ のりゆき)</p> <p>JAMSTEC 副主任研究員</p>
参加人数	52名
参加者の声	<p>✓ プログラミングを使って SDGs に取り組める方法を考えたい。(女子・12才)</p> <p>✓ 世界で魚の消費量が2倍に増えたのにおどろいた。(女子・12才)</p>

	<ul style="list-style-type: none">✓ ゲームみたいに船を動かしたりプログラミングして SDGs もできるなんてすごいと思った。(女子・10才)✓ コロナごみというのがあっておどろいた。(女子・11才)
--	--

⑧ 東京都目黒区



日時	2022年10月19日(水)
会場	目黒区立中目黒小学校(東京都目黒区)
実施内容	<p>●15:00～16:30</p> <p>SDGs×プログラミングワークショップ micro:bit で海洋プラスチックごみ調査</p>
参加人数	14名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ いままで知らなかったことを学べて楽しかった。プログラミングをうまくつかえれば環境問題とかを解決したりすることができると思った。(男子・10才) ✓ 今日学んだことをいかしてSDGsのゲームをつくりたい。(男子・11才) ✓ ごみをプログラミングで集めることができて楽しかった。ごみの分別をがんばろうと思った。(女子・9才) ✓ 社会問題をプログラミングで解決していく内容、プログラミングの学び、両方がとてもすばらしかったです。(保護者)

⑨ 東京都世田谷区



日時	2022年10月29日(土)
会場	世田谷区立山野小学校(東京都世田谷区)
実施内容	<p>10:00~16:30</p> <p>●午前 粘土工作 × Scratch プログラミングワークショップ</p> <p>●午後(2回) SDGs × プログラミングワークショップ Scratch で海の生き物を救おう</p>
参加人数	51名
参加者の声	<p>✓ プログラミングをやりながらSDGsのことも学べて楽しかった。(男子・9才)</p> <p>✓ こんなにいっぱいごいがあるなんておどろいた。海を守ることを学べた。(男子・9才)</p> <p>✓ 粘土で海の生き物をつくるとき、色々考えて形を考えるのが楽しかったです。(女子・7才)</p> <p>✓ 子どもたちを飽きさせず、SDGsとプログラミングを学べる今回のイベントはとても良いと思う。(保護者)</p>

⑩ 鹿児島県鹿児島市



日時	2022年11月19日(土)
会場	かごしま環境未来館(鹿児島県鹿児島市)
実施内容	<p>●午前：10:00～12:15</p> <p>●午後：13:00～16:30</p> <p>粘土工作×Scratchプログラミングワークショップ 鹿児島錦江湾の生き物を作ってプログラミングで動かそう</p> <p>粘土講師：三反田登美子(みたんだ とみこ)</p> <p>地元の染色家</p> <p>講演会講師：大富潤(おおとみ じゅん)</p> <p>「錦江湾のうんまか深海魚を食べて『もったいない』をなくそう！」</p> <p>鹿児島大学水産学部教授、かごしま深海魚研究会代表</p>
参加人数	63名
参加者の声	✓ きゅうしゅうひげをまなべて楽しかったです。(女子・7才)

	<ul style="list-style-type: none">✓ プログラミングで魚をうごかすことがたのしかった。プログラミングでいろいろなものがうごいているんだなと思いました。（女子・8才）✓ プログラミングをできたし、深海魚についてよく知ることができた。世の中に役立つようなプログラムを作りたいと思った。（男子・12才）✓ 身近な海の魚の話が聞け、プログラミングで勉強しながら、粘土で作った自分の作品を動かして満足なイベントでした。（保護者）✓ 大学の先生のお話とプログラミング体験、両方体験させることができ面白かったです。（保護者）
--	---

⑪ 神奈川県横須賀市



日時	2022年11月27日(日)
会場	総合福社会館(神奈川県横須賀市)
実施内容	<p>●1回目: 13:00~14:30</p> <p>●2回目: 15:00~16:30</p> <p>SDGs × プログラミングワークショップ Scratch でブルーカーボンチャレンジ!</p> <p>●10:30~11:30</p> <p>SDGs 講演会 海に溶けるナイロン、ナイロンを食べる微生物 講師: 若井 暁 (わかい さとし) JAMSTEC 主任研究員</p>
参加人数	47名
参加者の声	<p>✓ マイクロプラスチックなど説明が分かりやすく、今の海の現状を知れてよかったです。(女子・11才)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自分でプログラムを作れておもしろかった。SDGs と CO2 などについて知れてよかった。（男子・11才） ✓ プログラミングを使って、SDGs にこうけんしていきたいと思った。（女子・10才） ✓ プログラミングを楽しみながら、温暖化の知識も教えていただけて聞きやすかったです。生活でも環境を考えるきっかけになり良かったです。（保護者） ✓ NHK の WHY プログラミングをいつも見ていたが、実際おうちでやり方が分からなかったので勉強になりました。SDGs と環境問題を両方学べて大変良かったです。（保護者）
メディア掲載	<p>SDGs-Guide 1/16 記事掲載</p> <p>https://sdgsguide.com/2023/01/16/</p>

⑫ 東京都文京区



日時	2022年12月10日(土)
会場	拓殖大学(東京都文京区)
実施内容	<p>●13:00~15:00</p> <p>SDGs × プログラミングワークショップ SDGs でブルーカーボンチャレンジ!</p> <p>●10:30~12:00</p> <p>ソーシャルデザインワークショップ 親子で学ぶソーシャルデザイン</p> <p>講師: 飯沼 瑞穂 (いいぬま みずほ)</p> <p>ソーシャルデザイン 国際教育開発プロジェクト 東京工科大学メディア学</p>
参加人数	42名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングで楽しく、海藻がCO2を吸収するしくみを知れたのが良かった。(女子・10才) ・いろんなプログラムを作れて楽しかった。(男子・8才) ・プログラミングのこともCO2のこともよく分かった。(女子・9才) ・家に帰ったらスクラッチでゲームをつくりたい。(女子・8才)

	<ul style="list-style-type: none">・とても分かりやすい説明で、親子で楽しみながら学ぶことができた。（小学生保護者）・プログラミングを通して、CO2 の吸収について関心を持つことができた。（小学生保護者）・ゲームを作るということを簡単に子どもが学べて良かった。（小学生保護者）
--	--


⑬ 東京都目黒区




日時	2023年1月14日(土)
会場	下目黒住区センター(東京都目黒区)
実施内容	●14:15~16:00 SDGs × プログラミングワークショップ SDGs でブルーカーボン チャレンジ!
参加人数	24名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・海藻がCO2を吸っていたなんて驚きました。(男子・9才) ・プログラミングを通してSDGsのことが知れて楽しかった。(女子・9才) ・海の問題を知ることができてよかったです。(女子・9才) ・「海の豊かさを守るためにアマモを植える」という視点でゲームを作ることができ、動機となる目的も方法もとてもよかったです。(小学生保護者) ・子供も楽しみながら環境について学べてとても良い企画だと思いました。(小学生保護者)

(2) 出前授業

① 東京都 足立区立 千寿本町小学校

	
日時	2022年6月10日(金) 13:40~15:15
会場	東京都 足立区立 千寿本町小学校
実施内容	Scratchで海の生き物を救おう
対象	4年生 61名(2クラス合同)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none">✓ 魚が食べると死んでしまうから、捨てるプラスチックを減らすような1人1人の努力が大切なんだと分かった。(女子・9才)✓ お父さんとお母さんに伝えていっしょに考えてみたい。(男子・9才)✓ プログラミングで遊びながら学べて、すごく楽しかったし、気をつけなければいけないと思った。(女子・9才)

② 昭和女子大学附属 昭和小学校

	
日時	2022年6月21日(火) 8:40~14:40
会場	昭和女子大学附属 昭和小学校 (東京都世田谷区)
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	4年生 104名 (3クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ クイズの時、私達人間がたくさんプラスチックを作り、すてている事におどろき、ボランティアで何か出来ないか探してみようと思いました。(女子・10才) ✓ 今、海で何が起きているのかが分かったし、どんな事をする と力になれるのかが分かったので、よい授業だった。(女子・9才) ✓ プログラミングやクイズなど、子どもたちが主体的にSDGs を学ぶことができたと思います。ありがとうございました。 (担当教員)

③ 白百合学園小学校



日時	2022年7月7日(木) 8:35~14:40
会場	白百合学園小学校(東京都千代田区)
実施内容	Scratchで作るプラごみ回収ロボット
対象	6年生 114名(3クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 正多角形という算数を使いながら、より良い環境につながるための手段を学べてとても楽しかったです。本当にありがとうございました。(女子・12才) ✓ 少し苦手だった算数を使い、算数への気持ちが変わりました。とても楽しく、プログラミングでSDGsを学習できることがおもしろかったです。今回はありがとうございました。(女子・11才) ✓ プラスチックには、良いところも悪いところもあり、良いところを尊重して、悪いところを改善すればよいなと思いました。(女子・11才) ✓ 40分×2の短時間で沢山の内容を盛り込んで頂いたので、得意な一部の児童しか同じペースで進められなかった印象です。しかし、スタッフの皆様が個別にサポートして下さいだったので、全員が楽しめたと思います。(担当教員)

④ 都立両国高等学校・附属中学校



日時	2022年7月21日(木) 10:30~13:00
会場	都立両国高等学校・附属中学校(東京都墨田区)
実施内容	micro:bitで海洋プラスチックごみ調査
対象	中学3年生 21名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海ごみの調査がもたらす意味や、実際に行われている事例など、表面的にしか知らなかった事に対して、厚く学ぶことができたと思います。(女子・15歳) ✓ 行動力の大切さ及び社会に対する影響力、重要さが分かった。また科学技術は様々なことの情報収集・分析などを効率的に進めるという役割があることも知った。(男子・14歳) ✓ プログラミングに興味をもって参加させていただいたのですが、私自身の興味が社会に貢献する手段となり得るということに希望をもらえました。より将来の夢が広がりました。ありがとうございました。(女子・14歳) ✓ プログラミングというものに対して、難しいものだという印象を抱いていましたが、今回初めてやってみて、自分の組み合わせたブロック通りに船が動き、とても楽しいと思うことができました。(女子・14歳) ✓ 数字などのデータでどれくらいのごみが海に流れているのかなどを知ると、海洋ごみ問題を身近に感じました。海にポイ捨てして


	<p>いるわけではなくとも、道に捨てられたごみが海に流れ着いている事を知って、私たちの生活と海との結びつきが感じられた。</p> <p>(女子・14歳)</p>
メディア掲載	7/27(水)放送 JCOM 株式会社 番組名：「ジモト応援つながるニュース」

⑤ 東京都 足立区立 千寿第八小学校



日時	2022年9月8日(木) 8:50~15:15
会場	東京都 足立区立 千寿第八小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	5年生 103名 (3クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海についてプログラミングでわかって、勉強にもつながったので、海についていろいろなことを知りたいと思いました。(女子・10才) ✓ 自分でも海のことや川のことを変えるために、学校の友達などと一緒に問題を解決できたらいいと思いました。(女子・10才) ✓ 使えるものは最後までちゃんと使ってからごみを捨てるほうが海にも優しいかなと思いました。(女子・10才) ✓ これからもっと川のことを調べて、海も綺麗にしたいと思いました。(男子・10才) ✓ プログラミングからはじまり、子どもたちが楽しく興味を持って参加することができました。クイズなどのおどろきから、今後の活動を考える指標になりました。(教員)

⑥ 千葉県匝瑳市椿海小学校（オンライン）


	
日時	2022年9月14日（水）10:35～12:15
会場	千葉県匝瑳市椿海小学校 ※オンライン実施
実施内容	Scratchで作るプラごみ回収ロボット
対象	5年生35名（1クラス）
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ この授業でSDGsのことやプログラミングを知れてとても楽しかったです。ごみを減らすために自分で注意したり工夫してみようと思いました。いろいろ教えていただきありがとうございました。（女子・11才） ✓ スクラッチを活用しながら、海のごみを回収するというとてもおもしろい内容でした。準備、運営、資料等の準備ありがとうございました。（教員） ✓ SDGsをより身近に感じることができました。プログラミング技術とSDGsと聞いて一緒に考えられるのかと思ったが、人間ができないことをカバーする技術が社会を良くするのだと思った。（教員）

⑦ 東京都 足立区立 栗原小学校




日時	2022年10月11日(火) 10:40~14:55
会場	東京都 足立区立 栗原小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	6年生 62名(2クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プラスチックが今は問題になっていたけど、それを解決しようとして、ビニール袋を開発をしてすごいと思いました。今も海は深刻だけど、これからもどんどん深刻になるときいて、「リデュース・リユース・リサイクル」を自分でも意識しようと思いました。(男子・12才) ✓ 魚に影響するプラスチックを減らしていく活動を増やしていきたい。プログラミングで魚を助けてあげたいと思った。(女子・12才) ✓ クイズを通して、プラスチックがたくさん作られていたり、それを沢山捨てていたことにびっくりした。世の中には、環境に対して色々な取り組みがありすごいと思った。(男子・12才) ✓ 海の現状について学ぶとともに、自分たちができることについて考える機会となった。(教員)

⑧ 埼玉県 戸田市立 戸田第二小学校


	
日時	2022年10月13日(木) 8:45~15:25
会場	埼玉県 戸田市立 戸田第二小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	5年生 158名 (5クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ たくさん海にごみが落ちていることがわかってとてもよかったです。少しでも何か手伝えることができるように、自分でも、ごみを減らすことに取り組みたいと思いました。(男子・10才) ✓ いままでにプラスチックが90億トン作られているのに約70億トンもすてられていると知ったので、びっくりしました。これからは3Rをしてプラスチックをなるべくすてないようにしようと思いました。(女子・11才) ✓ 魚を守るためにもごみをすてないで、まわりの友達や家族に教えてあげたいです。(女子・11才) ✓ 総合的な学習の時間に「環境」をテーマに学習を進めていたので、子ども達も興味深く参加することができました。今日の授業をきっかけに、子ども達が関心をもって自ら学んでほしいです。ありがとうございました。(教員) ✓ プラスチックごみの問題について順序立てて学べるのがとてもよかったです。(教員)

	<p>✓ 海なし県で生活する子どもたちにとって、海がかかえる課題を身近に感じられたと思います。ありがとうございました。(教員)</p>
<p>メディア掲載</p>	<p>10/13(木)Yahoo ニュース</p> <p>10/13(木)放送 テレビ埼玉 番組名：「NEWS545」</p> <p>11/12(土)放送 JCOM 株式会社 番組名：「WEEKLY トピックス」</p>


⑨ 東京都 足立区立 六木小学校

	
日時	2022年10月14日(金)8:45～15:05
会場	東京都 足立区立 六木小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	5年生 78名 (3クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海に流れているごみが約1000万トンだと知ってびっくりしました。(女子・11才) ✓ 海のことを楽しくわかりやすく、学習できて楽しかった。(男子・11才) ✓ プログラミングや海、川のごみ、リサイクルなどの話を理解することができた。自分に何かできることはないかな、と思いました。(女子・11才) ✓ 子ども達がプログラミングを通して楽しく参加していた。環境問題について、意識をもたせるいい機会になった。(教員)

⑩ 神奈川県 横浜市立 勝田小学校

	
日時	2022年11月30日(水)8:50~12:10
会場	神奈川県 横浜市立 勝田小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	4年生 110名 (3クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海洋ごみが生き物に与えている影響について学ぶことができたので、海洋ごみを減らすことの大切さを伝えたいと思った。(男子・9才) ✓ 家に帰ったら、もっと海のSDGsについて調べたい。(女子・10才) ✓ ビニール袋よりエコバッグを使おうと思った。(女子・9才) ✓ 子どもたちにとって身近なプラスチックについて学びながら、プログラミングについても学ぶことができ、勉強になりました。ありがとうございました。(教員)

⑪ 神奈川県 横浜市立 茅ヶ崎台小学校


	
日時	2022年12月16日(金) 10:40~12:15
会場	神奈川県 横浜市立 茅ヶ崎台小学校
実施内容	Scratch でつくるプラごみ回収ロボット
参加人数	6年生 29名(1クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海洋プラスチックについて、課題があることは知っていましたが、プログラミングを使って面白く、詳しく学べたので良かったです。(12才・女子) ✓ SDGsについてよく知れたことやプログラミングがSDGsを解決する「手」でもあることを知り、興味を持った。(11才・男子) ✓ プログラミングとSDGsを組み合わせた内容でとても興味のわく内容でした。ありがとうございました。(教員)

⑫ 東京都 渋谷区立 広尾小学校



日時	2022年12月21日(水)9:35~14:00
会場	東京都 渋谷区立 広尾小学校
実施内容	Scratch でブルーカーボンチャレンジ！
対象	6年生 37名(2クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アマモを増やすのに1年もかかるということにびっくりしました。また、海にはたくさん問題があるということを知った。(男子・11才) ✓ 海の自然を守るために、ロボットなどが活躍しているということを知りました。(女子・12才) ✓ 海の植物が二酸化炭素を減らしてくれているので、改めて植物の大切さを知ることができました。(女子・12才)

⑬ 栃木県 大田原市立 西原小学校

	
日時	2023年1月19日(木) 8:40~12:20
会場	栃木県 大田原市立 西原小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	4年生 97名 (3クラス)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海についてプログラミングでわかって、勉強にもつながったので、海についていろいろなことを知りたいと思いました。(女子・10才) ✓ 自分でも海のことや川のことを変えるために、学校の友達などと一緒に問題を解決できたらいいと思いました。(女子・10才) ✓ 使えるものは最後までちゃんと使ってからごみを捨てるほうが海にも優しいかなと思いました。(女子・10才) ✓ これからもっと川のことを調べて、海も綺麗にしたいと思いました。(男子・10才) ✓ プログラミングからはじまり、子どもたちが楽しく興味を持って参加することができました。クイズなどのおどろきから、今後の活動を考える指標になりました。(教員)
メディア掲載	下野新聞 1/21(土)記事掲載

⑭ 聖セシリア小学校（神奈川県大和市）



日時	2023年1月21日（土）10:00～11:30
会場	聖セシリア小学校（神奈川県大和市）
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	3～6年生 18名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プログラミングもできて楽しかったし、今自分が海の生物のためにできることを知れてよかった。（女子・11才） ✓ 今の世界の現状を知ることができて、これから大事になるプログラミングも学ぶことができた。（女子・12才） ✓ プログラミングをやりたがっていたので参加しました。併せてプラスチックごみのことも知れて良かったです。（保護者） ✓ 初めてプログラミングの講座に参加し、プログラミング面白いと思いました。そして、しっかりと海のプラスチック問題も勉強でき、有意義な時間でした。（保護者）
メディア掲載	<p>2/4(土),5(日)放送 JCOM 株式会社 番組名：「WEEKLY トピックス ～神奈川～」</p> <p>2/16(木)放送 BS よしもと 265ch 「地域発！ど・ろーかる NEWS」</p>

⑮ 広島県 呉市立 波多見小学校（オンライン）



日時	2023年1月30日（月）13:50～15:20
会場	広島県 呉市立 波多見小学校 ※オンライン実施
実施内容	Scratch でつくるプラごみ回収ロボット
対象	5年生（30名）
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ あみをつかってとるときにかこってあみをまいたらゴミがとれてそれがすごいリアルでした。（11才男子） ✓ 世界の人たちがゴミをなくすというのにいろいろなことを考えているのがすごかったです。（11才男子） ✓ 帰ってもプログラミングで習ったことやまなんだことを実こうしてやってみたいです。（11才男子） ✓ ぼくもプラスチックをへらすためにSDGsを守ってプラスチックをへらしていきたい（11才男子） ✓ 算数の内容とプログラミングと本校5年生の総合の内容に合っていたため、満足したし、また参加したい。実際にMBotなどのロボットプログラミングの講座があればやってみたいです（30代教員）

⑩ 菅生学園初等学校（東京都あきる野市）



日時	2023年1月31日（火）9:45～15:00
会場	菅生学園初等学校（東京都あきる野市）
実施内容	4年生：Scratch で海の生き物を救おう 5年生：Scratch でブルーカーボンチャレンジ！ 6年生：Scratch でブルーカーボンチャレンジ！
対象	4年生、5年生、6年生（48名）
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海のことでも知れてたのしくプログラミングができて楽しかったです。（女子・10才） ✓ アマモを育てるのに長い時間がかかることにおどろいた。（女子・11才） ✓ プログラミングで環境をよくしていけると知った。（男子・11才） ✓ 海のことについて初めて知るアマモの事やプラスチックのことなどあり、興味深かった。将来の海や地球のためにできることをしていきたいと思った。（参加児童保護者） ✓ あたり前だったことが、そうでなくなることの大変さに気づけたらと思う。（教員）

メディア掲載	読売新聞（多摩）2/1(水)記事掲載 西の風新聞 2/9(木)記事掲載
--------	--

⑰ 東京都 台東区立 上野小学校



日時	2023年2月1日(水) 8:45～12:15
会場	東京都 台東区立 上野小学校
実施内容	Scratch でブルーカーボンチャレンジ！
対象	5年生 (71名)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 植物だけが二酸化炭素を吸収しているのかとおもったけど、海洋生物も吸収していることにびっくりした。(男子・11才) ✓ 海の大切さだけでなく、アマモの大切さもわかり、より海が大切な存在である事がわかった。(男子・11才) ✓ 地球の大切な海洋資源について知れたし、アマモの力で二酸化炭素を吸収しているのをゲーム型でやっていて楽しかった。(女子・11才) ✓ プログラミング (Scratch) と出会えた子供がたくさんいて、とてもよい学習になりました。今後、子供が大人になっていく上で、上手にプログラミングを使える、役に立てられる人になってほしいと思いました。(教員)

⑱ 兵庫県 姫路市立 大津茂小学校 (オンライン)



日時	2023年2月21日(火) 8:50~15:15
会場	兵庫県 姫路市立 大津茂小学校 ※オンライン実施
実施内容	Scratch でつくるプラスチックごみ回収ロボット
対象	5年生 (97名)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ とてもむずかしいと思っていたプログラミングがこんなかんたんにつくれることにおどろきました。(11才女子) ✓ カメがナイロンぶくろをクラゲとまちがえて食べてしんでしまうというのがかわいそうだと思った。(11才女子) ✓ 本当にロボットがゴミを回収しているのは知らなかった(11才男子) ✓ あらためてSDGsの考え方が深まったとともにプラスチックごみの削減など考える良いきっかけになりました。児童らも楽しくSDGsを学べてとても良い勉強になりました。(20代教員)

⑱ 東京都 渋谷区立 広尾小学校



日時	2023年3月14日(火) 10:00～12:15
会場	東京都 渋谷区立 広尾小学校
実施内容	Scratch で海の生き物を救おう
対象	4年生 (25名)
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海にごみを流さないために、自分ができることが意外とあってびっくりした。(女子・10才) ✓ 今の海のことを知れてよかったです。プラスチックをなるべく捨てないようにがんばります。(女子・10才) ✓ プログラミングをとおして、海についてのことを知れて良かった。(男子・10才) ✓ 子どもたちが試行錯誤し、発見し、課題を見つけていく姿が見られました。ありがとうございました。(教員)

2. 参加人数

(児童と保護者) 通算で 1,852 名

- 会場イベント 554 名 (13 か所)
- 出前授業 1,298 名 (計 19 校/43 クラス+希望者)

3. 事業成果物及び URL

- 公式ウェブサイト「プログラミングで海の SDGs!」

<https://programming.or.jp/umip/>

計測期間：2022 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日

ユーザー数：30,299 (対前年：97.2%増)

セッション数：42,547 (対前年：85.9%増)

PV 数合計：385,112 (対前年：165.51%増)

- 公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/YppSDGs/>

エンゲージメント累計：8,887

Facebookページのリーチ：33,251

- 公式 Twitter

<https://twitter.com/YppSDGs>

インプレッション累計：2,585

- 公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCbbmQj4QW7L-cuvhXApuaiA>

視聴回数合計：236

4. 広報としての制作物

- チラシ印刷部数：56,800部

7/23 (土) 長野県長野市イベント：10,000部

7/26（火）静岡県沼津市イベント：5,000部

8/21（日）大阪府河内長野市イベント：2,800部

9/18（日）香川県丸亀市イベント：9,500部

9/19（月）広島県呉市イベント：6,000部

11/12（土）長野県上田市イベント：4,500部

11/27（日）神奈川県横須賀市イベント：12,000部

12/10（土）東京都文京区イベント：7,000部

5. イベント実施に伴う制作物や購入記載

- プログラミングワークショッププログラムソース（2種類）
- ワークショップ講義資料（2種類）
- 各イベント当日の記録（写真、ビデオ映像）
- 必要機材（助成表示ステッカー貼付写真）
- オリジナルキャラクター
- 2次元コード付きオリジナルTシャツ制作
-

6. 本事業に関する広報活動実績

(1) 実施ワークショップ

① あらかわエコセンター

日時会場：6月4日（土）あらかわエコセンター

実施内容：micro:bitでサステナブル漁業体験

実施経緯：荒川区環境課より依頼

② 地域 ICT クラブ in 霞ヶ関

日時会場：8月3日（水）、4日（木）※オンライン実施

実施内容：Scratchで海の生き物を救おう

実施経緯：総務省受託事業者 リトルスタジオインク株式会社が教材を使用

教材は、総務省地域ICTクラブ オンライン教材として採用される

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_johoka/IoT_learning/programming-text/04_01.html

③ 港区エコプラザ

日時会場：8月9日（火）港区エコプラザ

実施内容：micro:bit で海洋プラスチックごみ調査

実施経緯：港区立エコプラザより依頼

④ こども科学センターハチラボ

日時会場：8月13日（土）こども科学センターハチラボ

実施内容：micro:bit で海洋プラスチックごみ調査

実施経緯：こども科学センターハチラボより依頼

⑤ 「総務省 地域 ICT クラブ」の全国シンポジウム

日時会場：3月10日（金）日本科学未来館

実施内容：教材の実演・展示

実施経緯：「総務省 地域ICTクラブ」の全国シンポジウムに地域ICTクラブとして参加